

永生トピックス

(N o 42)

2007/9/20 薬剤科

<リタリン> 大量服用で幻覚



<リタリン>大量処方で幻覚 25歳男性自ら命絶つ 名古屋

9月18日9時36分配信 [毎日新聞](#)

乱用の広がりが明らかになった向精神薬「リタリン」。依存症や幻覚・妄想など重い副作用に苦しむ人が増えている。名古屋市の小原幸子さん(54)の長男毅(つよし)さん(当時25歳)は、医師が十分な診察もせずに処方したリタリンを服用し続け、依存症になった末に2年前、自ら命を絶った。毅さんがリタリンを服用し始めたのは19歳のとき。体の不調を訴え、名古屋市内の精神科クリニックで診察を受けた。医師はうつ病と診断し、リタリンを処方した。毅さんの表情はいきいきとし、元気を取り戻したかのように見えた。しかしすぐに不眠や体のだるさを口にし、服用量が増えた。別の病院やクリニックを次々掛け持ち受診し、リタリンを大量に集めるようになった。毅さんは05年1月、名古屋駅前のホテルで首つり自殺した。1人暮らしをしていたアパートには、リタリンの空き瓶や、病院やクリニックでもらった大量の処方せんが散乱していた。30以上の医療機関が毅さんにリタリンを出しており、処方方を拒否したのは1カ所だけだった。亡くなる5日前には、初診だった市内の国立病院が1日8錠ものリタリンを処方していた。毅さんが生前、愛用していたパソコンには「リタリンをやめるためにはどうすればいいのか」と書き残されていた。

<薬物依存症>「リタリン」で急増 医師の安易処方が原因か

9月18日3時5分配信 [毎日新聞](#)

向精神薬「リタリン」を乱用し、依存症などの副作用で入・通院したケースが06年度、精神科病床を持つ全国の医療施設で15例に上り、2年前の約2倍に急増していることが国立精神・神経センター(東京都小平市)の調査で分かった。精神医療関係者は「適応症でない場合に安易に医師が処方し、依存症を増やしている」と指摘している。

センターは2年に1度、薬物依存の実態調査を実施。今回は06年9月～07年3月、全国1653施設にアンケート用紙を送り、937施設(56.7%)から回答があった。それによると、主にリタリンを乱用し依存症などで入・通院したのは15例で、前回の04年度(8例)から倍増。また、覚せい剤やシンナーなど他の薬物との併用による入・通院も30例あり、前回(19例)から5割以上増えた。

調査した同センターの和田清・薬物依存研究部長は「リタリンは、幻覚・妄想などの強い副作用が覚せい剤のように高い頻度では出ないため、なかなか実態が表面化しにくい。

【リタリン】 塩酸メチルフェニデートの商品名。

① 過量投与

徴候、症状¹⁾

主に中枢神経系の過剰刺激及び過度の交感神経興奮に起因する次の諸症状

嘔吐、激越、振戦、反射亢進、筋攣縮、痙攣(昏睡を続発することがある)、多幸感、錯乱、幻覚、せん妄、発汗、潮紅、頭痛、高熱、頻脈、心悸亢進、不整脈、高血圧、散瞳、粘膜乾燥

処置¹⁾

症状に応じた支持療法を行う。自己損傷の防止、過剰刺激症状をさらに悪化させる外部刺激の排除に留意。

徴候、症状がそれほど重篤でなく、患者に意識がある場合には催吐あるいは胃洗浄によって胃内容物を除去する。

重篤な場合は胃洗浄の前に短時間作用型バルビツール酸系薬剤を用量に注意し投与する。血液循環と呼吸の維持に集中治療を行う。高熱に対しては物理的な解熱処置をとる。リタリン過量服用に対する腹膜透析、血液透析の有効性は確立していない。

② 効能又は効果

ナルコレプシー

抗うつ薬で効果の不十分な下記疾患に対する抗うつ薬との併用

難治性うつ病、遷延性うつ病

③ 用法及び用量

ナルコレプシーには、塩酸メチルフェニデートとして、通常成人1日 20~60mg を1~2回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

難治性うつ病、遷延性うつ病には、塩酸メチルフェニデートとして、通常成人1日 20~30mg を2~3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

当院では、現在 5 名くらいの患者様に 1 日 1~2錠投与されています。院内では目立った副作用の報告はありません。

しかし、ニュースにあるように、爽快(そうかい)感や多幸感が得られたり、食欲抑制作用があるため、若者を中心に乱用されているようです。安全な薬物治療のために、患者様の服薬状況の把握と薬歴管理が必要だと思われます。

病棟では、服薬を毎回確認してください。